

～海運・船の役割を学ぼう！～ 江差町小学生を対象とした “奥尻航路体験航海”を開催しました

令和6年8月19日（月）、江差町内の小学生を対象にハートランドフェリー株式会社が江差港と奥尻港の間を運航する「カランセ奥尻」を使用して、江差町教育委員会と函館運輸支局、ハートランドフェリー株式会社の主催、奥尻町の協力のもと奥尻航路体験航海を開催しました。

当日は、江差小学校から児童3名、北小学校から2名、南が丘小学校から4名の3～6年生、計9名が参加しました。



【フェリー（カランセ奥尻）へ乗船！】

参加した児童は江差港から「カランセ奥尻」に乗船し奥尻港との間を往復し、船内でブリッジ見学とロープワーク体験、機関室見学、運輸支局とハートランドフェリーによる海事講座を受講することにより海上輸送の重要性を学び、海運や船の役割に対する関心を高めていただきました。



【ロープワーク体験】



【海事講座】

奥尻港に到着後は、奥尻町の案内により奥尻地熱発電所を見学し地熱発電所の仕組みを学ぶことにより自然環境エネルギーを活用した地元産業への関心を高めました。

また「北海道最西端の碑」がある北追岬公園を散策し、奥尻島の自然環境を体感しました。



【地熱発電所見学】

奥尻地熱発電所では温泉熱によるゆで卵作りも体験し、参加した児童は復路の船内でゆで卵の味を堪能しました。本体験航海に参加した江差町内に在住する児童は全員、奥尻島を旅行したことがなく、対岸に住みながら一度も足を踏み入れたことのない奥尻島を実際に体験する貴重な機会にもなりました。



【ゆで卵作り体験】

当日は晴天に恵まれ、往復ともに波が穏やかであったことから船酔いを懸念する状況もなく快適な環境で実施することができました。



今回の体験航海を通じて船により関心をもっていただき、海運を支える船員への就職希望者が参加した児童からより多く出てくることを期待します。

▼ 参加児童の感想 ▼



船の仕組みを実際に見ることができたり、船で働く人たちの仕事がわかりました。ロープワーク体験も楽しかったです。

普段乗船することのない江差町と奥尻島を結ぶフェリーの大切さと船の楽しさを知ることができました。



地熱発電所を目で見て、話を聞くことができ、奥尻島の産業を学ぶことができました。

▼ 檜山教育局担当者様の感想 ▼

船内見学では、子ども達が実際に船を見て、触れる体験ができ、とても充実した内容でした。

今回の体験航海で得た経験や内容を、水産業が盛んな地域で活かしてもらえれば嬉しいです。

▼ 協力事業者様の感想 ▼

参加した児童が、この体験航海を通じて船により関心を持ち、海運を支える船員への就職を希望する児童が少しでも増えてもらえれば、と期待しています。